

**注意！**

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

# 農作物技術情報 第2号 畜産

発行日 平成23年 4月26日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/>」

- ◆ 飼料給与について 配合飼料の切り替え等は段階的に行いましょう。
- ◆ 牧草 適正な春施肥を心がけましょう。
- ◆ 飼料用トウモロコシ 地域に合った品種の選定をもとに、栽培計画を立てましょう。

## 1 飼料給与について

配合飼料の供給量は、だいぶ改善されてきていますが、ペレット、バルキータイプの配合飼料が入手困難な状況あり、代替の配合飼料の嗜好性が落ちる場合もあるようです。飼養管理において、次の事項に留意して下さい。

### (1) 乳用牛、肉用牛(繁殖牛)

#### 配合飼料の切り替えや増給は段階的に行い、嗜好性の良い粗飼料を十分に給与しましょう

マッシュタイプの配合はペレット、バルキータイプの配合よりも第一胃内での発酵が早いです。嗜好性の良い粗飼料を十分に給与すると共に、配合飼料の切り替えや増給は糞の性状(やわらかさ、未消化の穀物など)等を見ながら、段階的に調整して下さい。

また、配合飼料の食いつきが悪く、十分に食べない場合は、嗜好性の良い粗飼料を増給し、腹を満たし、粗飼料からの栄養供給を増やします(表1参照)。

表1 配合飼料1kgに相当する粗飼料給与量の目安

牧草サイレージ (乾物50%、TDN55%)	イネ科乾草 (乾物88%、TDN55%)	トウモロコシサイレージ (乾物30%、TDN70%)
2.0~3.0kg	1.5~2.0kg	3.5~4.0kg

※配合飼料1kgのTDN量を換算

### (2) 元の給与量に戻すには

ペレット、バルキータイプの配合飼料に戻す場合も、糞の状況等を見ながら段階的に戻して下さい。

## 2 牧草

### (1) 採草地

牧草は平均気温が5℃になった頃から生育を開始します。圃場が乾いたら、早めに施肥作業が行えるように機械の点検と圃場ごとの施肥量を確認しておきましょう。また、草丈の短いこの時期に、裸地等草地の状況を確認し、秋に追播、更新が必要かどうかもお見せおきましょう。

### (2) 放牧地

今年のように春の気温が低い場合、牧草のマグネシウム吸収の低下が懸念されます。低マグネシウム血症(グラスステタニー)の発生を予防するために、過去に発生履歴がある場所では放牧前に苦土石灰を散布したり、マグネシウムやマグネシウム入り鉍塩を設置するなどの対策を行いましょう。

### 3 飼料用トウモロコシ

地域の気象条件に適合した品種を選定し、安定生産に努め、飼料自給率の向上を図りましょう。

#### (1) 品種の選定

飼料用トウモロコシの栽培は、品種の選定が最も重要です。栄養収量と発酵品質が最良である「黄熟期」に収穫しましょう。したがって、降霜前に黄熟期に達する品種を選定しましょう。

栽培面積が多くなる場合には、熟期の異なる品種を組み合わせることで収穫期間の延長を図りましょう。

#### (2) 極早生品種の紹介(試験研究成果)

岩手県農業研究センター畜産研究所の平成 22 年度試験研究成果から、本県で高位生産が期待できる飼料用トウモロコシ極早生品種について紹介します。

品 種 名:「38H20(パイオニア 95 日)」

特 性:

ア 乾物収量、雌穂割合とも高く、TDN 収量も高い(表 2)。

イ 試験を行った 3 年間を通じて倒伏の発生は無かった。

ウ 耐病性はすす紋病に対して強く、ごま葉枯病に対しては中程度の強さである。また、すじ萎縮病は試験を行った 3 年間を通じてなく、根腐れ病、黒穂病の罹患率も 1%未満で低かった。

表2 収量性

品種名	試験年次	生草		乾物			TDN 収量 kg/10a	播種日から黄熟期 までの日数	播種から黄熟期 までの単純積算温度 (°C)
		雌穂 kg/10a	総量 kg/10a	雌穂 kg/10a	総量 kg/10a	雌穂率 %			
38H20	H20~22 平均	1752	5849	963	1785	54%	1297	113	2250
ディアHT	H20	1452	5913	764	1461	52.3%	1055	113	2157
あおぞら	H21	1411	4966	808	1523	53%	1103	115	2218
	H22	1354	5668	791	1742	45.4%	1226	103	2217

※ 畜産研究所(標高 250m)における試験成績

施肥量(kg/10a) 窒素 12、リン酸 14.4、カリ 12  
栽植密度 8081 本(畦間 75cm × 16.5cm)

#### (3) 適正な堆肥の施用

家畜ふん尿の多量投入は飼料用トウモロコシの硝酸態窒素含量を高めるほか、ミネラルバランスも崩れ、家畜の栄養上問題となります。10a当たり 3~4tの施用としましょう。

#### (4) 霜害に注意

飼料用トウモロコシの発芽は約1週間ですので、予想される晩霜の 1 週間前が播種の早限です。しかし、晩霜は年によって異なりますので、これまで度々霜害を被っている圃場では覆土を 5cm 程度に厚くするなどの対策を講じましょう。

#### (5) 栽植本数

密植すると雌穂が小さくなり TDN 含量が低下するだけでなく倒伏にも弱くなります。10a当たりの適正栽植本数は、早生品種で 7,000 本、中生品種で 6,500 本、晩生品種で 6,000 本程度です。

春の農作業安全月間実施中！

[ 4月15日  
~6月15日 ]

農作業 無事故でつなぐ 明るい未来

次号は 5 月 26 日 (木) 発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。